



大阪府医師会発

けんこう情報



突発性難聴

突然片耳が聞こえなくなる突発性難聴。
すぐに専門医を受診するようにしましょう。

働き盛りの人が、ある日突然、片耳が聞こえなくなることがあります。それが突発性難聴です。治療が遅れると、難聴や耳鳴りが残ることもありますので、異常に気付いたらすぐに対応するようにしましょう。

●突発性難聴とは



原因となる疾患が特にないのに、ある日突然、片方の耳の難聴が起こる病気です。若い人にも見られますが、特に多いのは40～50歳の働き盛りの年代です。ストレスや心身の過労が引き金となって、発病すると考えられています。

●突発性難聴の症状

耳閉感だけの軽度難聴のこともありますが、かなり高度な難聴が起こり、まったく聞こえなくなる場合もあります。ただし片耳だけに起こるため、すぐには気付かないこともあります。ほとんどが一度きりの症状なので、もし繰り返し発作がある場合はメニエー



ル病を疑いましょう。難聴以外に、耳鳴りやめまい、吐き気なども起こる場合があります。耳鳴りはほとんどの人に起こり、長く続くとイライラしたり不眠になるなど、精神的な影響を及ぼすこともあります。

●突発性難聴が起きたら

聽覚の異常に気付いたら「そのうち治るだろう」と放置せず、数日以内に医療機関を受診するようにしましょう。治療が遅れると、難聴や耳鳴りが残る場合があります。



治療は薬によるものが主ですが、安静にして身体を休めることが大切です。ストレスや過労を取り去ることが、血液の流れをよくし、身体の免疫力を高め、症状の緩和や治療を円滑に進めることにつながるからです。